

平成 24 年度

# 一般廃棄物処理の現況

(平成 26 年 2 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課



# 目 次

## I 概要編

1. ごみ処理の概要	
(1) ごみの総排出量.....	1
(2) 各地区の状況.....	2
2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
(1) 全県の状況.....	4
(2) 各地区の状況.....	5
3. ごみ処理施設の状況	
(1) 全県の状況.....	9
(2) 各地区の状況.....	10
4. ごみ減量化・資源化状況	
(1) 全県の状況.....	23
(2) 各地区の状況.....	24
5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置.....	28
6. し尿処理の概要	
(1) 衛生処理人口.....	33
(2) し尿処理の状況.....	34
(3) し尿処理施設.....	35
7. 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要.....	36
(1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要.....	36
(2) 地区別のごみ処理事業経費の概要.....	36
7-2 廃棄物処理事業従事職員.....	40
7-3 委託・許可件数.....	40
7-4 一般廃棄物処理業者等関係.....	40
8. ダイオキシン類対策等の状況.....	41

## II 資料編

1. ごみ処理の概況	
(1) ごみ処理フロー（平成 24 年度実績）	42
(2) ごみ処理の状況（市町村別）	43
(3) 1人1日当たり総排出量別・リサイクル率別市町村一覧（平成 24 年度）	45
(4) ごみの収集体制・分別状況（生活系）	45
(5) 保管施設整備状況	46
(6) 平成 24 年度資源回収状況	47
(7) ごみ処理施設整備状況	49
(8) 不燃物処理施設整備状況（粗大ごみ処理施設含む）	51
(9) 埋立処分地施設整備状況	53
(10) 焼却施設（溶融施設・ごみ燃料化施設含む）整備状況図 （平成 25 年 3 月 31 日現在）	56
2. し尿処理の概況	
(1) し尿処理フロー（平成 24 年度実績）	57
(2) 衛生処理人口	58
(3) し尿処理の状況（市町村別）	60
(4) し尿処理施設整備状況	62
(5) コミュニティ・プラント施設整備状況	64
(6) し尿処理施設整備状況図（平成 25 年 3 月 31 日現在）	65
3. 廃棄物処理事業の概要	
(1) 廃棄物処理事業従事職員	66
(2) 委託・許可件数	67
(3) 一般廃棄物処理事業者等関係整備状況	68
(4) 廃棄物事業経費（市町村別）	69
(5) 廃棄物事業経費（事務組合別）	71
4. 浄化槽整備状況	
(1) 年度別浄化槽設置状況	73
(2) 市町村別・規模別浄化槽設置状況（平成 24 年度末）	74
(3) 浄化槽設置整備事業実績（個人設置型）	75
(4) 市町村設置型浄化槽整備実績（平成 24 年度末）	76
(5) 浄化槽法定検査（法第 11 条）実施状況	77
5. 参 考 資 料	
島根県における一般廃棄物処理体制	78
廃棄物処理関係一部事務組合一覧表	79
島根県の廃棄物行政機関	81

# I 概要編



# 1. ごみ処理の概要

## (1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理の推移を表1-1及び図1-1に、計画収集人口の割合を図1-2に示す。

平成24年度における県内のごみ総排出量は245,755tであり、前年に比べ約0.8%の減少となっている。

計画収集人口は717,068人(外国人含む)で総人口の99.97%である。1人1日当たりごみ排出量は939gである。

ごみ総排出量及び1人1日当たりごみ排出量は平成21年度までは減少傾向が続いていたが、平成22年度以降増加している。

表1-1 ごみ排出量と処理の推移

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総人口(人)	732,013	728,413	722,177	717,167	717,289
計画収集人口	729,645	725,900	719,717	716,331	717,068
自家処理人口	2,368	2,513	2,460	836	221
計画収集率(%)	99.7	99.7	99.7	99.9	99.97
ごみ総排出量(t/年)	241,355	237,847	242,161	247,656	245,755
計画収集量	195,999	192,308	210,928	215,029	213,886
直接搬入量	42,911	43,187	28,938	30,259	29,565
集団回収量	2,445	2,352	2,295	2,368	2,304
ごみ総処理量(t/年)	239,034	234,430	239,738	245,076	243,059
直接焼却	163,595	160,545	159,726	171,231	173,058
焼却以外	70,148	66,987	72,818	68,795	65,432
直接埋立	5,291	6,898	7,194	5,050	4,569
1人1日当たり ごみ排出量 (g)	903	895	919	944	939

注) 平成24年度は外国人を含んだ人口

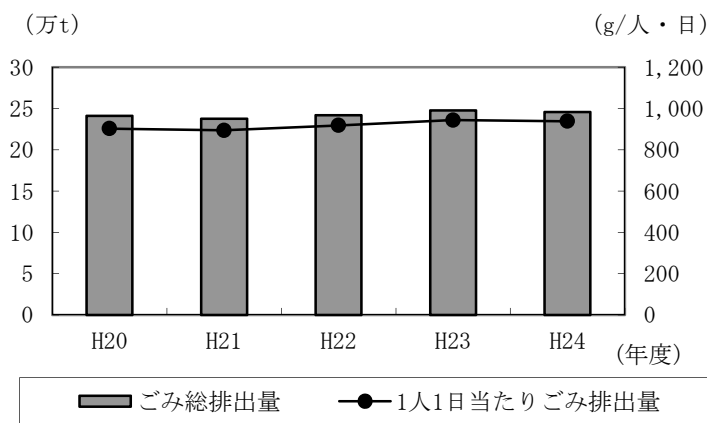


図1-1 ごみ総排出量の推移

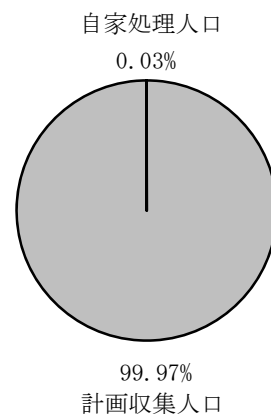


図1-2 計画収集人口の割合

注) ごみ総排出量 (t/年) = 計画収集量 + 直接搬入量 + 集団回収量

ごみ総処理量 (t/年) = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立量

1人1日当たりごみ排出量 (g/人・日) = ごみ総排出量 / 総人口 / 365日 (366日) × 10<sup>6</sup>

## (2) 各地区の状況

### <松江地区>

#### ①松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### ②安来市

可燃ごみ処理は、平成 19 年 4 月 25 日より焼却施設を休止し、民間業者へ委託処理している。

当地区のごみ総排出量は 90,641t、処理量合計は 90,475t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 997g と県平均の 939g を上回っている。

### <出雲地区>

#### ①奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

#### ②雲南市・飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村・旧掛合町及び飯南町では、中継施設を経由して出雲市に委託している。

#### ③出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 79,265t、処理量合計は 77,442t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 916g と県平均の 939g を下回っている。

### <浜田地区>

#### ①大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託している。

#### ②川本町・美郷町・邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

#### ③浜田市・江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

#### ④益田市・津和野町・吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

当地区のごみ総排出量は 65,671t、処理量合計は 64,963t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 858g と県平均の 939g を下回っている。



< 隠岐地区 >

① 隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

② 海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

③ 西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

④ 知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 10,178t、処理量合計は 10,179t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 1,296g と県平均の 939g を大きく上回っている。

表 1-2 各地区のごみ総排出量と処理内訳

区 分	松江地区	出雲地区	浜田地区	隠岐地区
総人口(人)	247,710	234,952	207,885	21,447
計画収集人口	247,710	234,952	207,664	21,447
自家処理人口	0	0	221	0
計画収集率(%)	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%
ごみ総排出量(t/年)	90,641	79,265	65,671	10,178
計画収集量	83,413	69,557	56,660	4,256
直接搬入量	7,062	8,041	8,540	5,922
集団回収量	166	1,667	471	0
ごみ総処理量(t/年)	90,475	77,442	64,963	10,179
直接焼却	64,850	51,915	47,962	8,331
焼却以外	25,202	21,679	16,989	1,562
直接埋立	423	3,848	12	286
1人1日当たりごみ排出量 (g)	997	916	858	1,296

注) 外国人含む

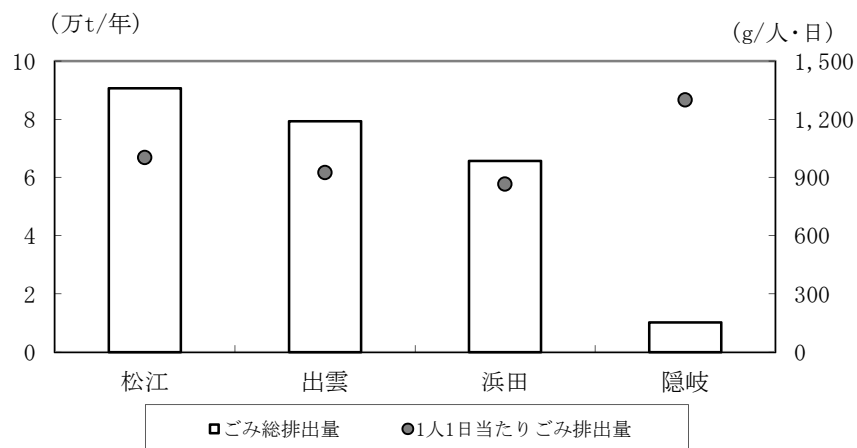


図1-3 ブロック別ごみ排出量

## 2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

### (1) 全県の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表 2-1、ごみの収集内訳を図 2-1、ごみの処理内訳を図 2-2 に示す。

平成24年度に市町村から排出されたごみ量は245,755tであり、収集内訳は、可燃ごみ74.0%、不燃ごみ5.6%、資源ごみ19.9%、粗大ごみ0.5%、その他は0.1%未満であった。

処理内訳では、173,058t(71.2%)は直接焼却され、65,432t(26.9%)は破碎・圧縮等の焼却以外の中間処理、残りの4,569t(1.9%)は直接埋立とされている。

県全体で60,286tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると62,590tが資源化された。

表2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

県全体		平成24年度	
計画収集量		213,886	
収集内訳	可燃ごみ	158,329	
	不燃ごみ	11,891	
	資源ごみ	42,490	
	その他	68	
	粗大ごみ	1,108	
直接搬入量		29,565	
集団回収量		2,304	
総排出量		245,755	
自家処理量		441	
処理内訳	中間	直接焼却	173,058
		焼却以外	65,432
	最終処分	直接埋立	4,569
		焼却残渣	10,321
		破碎圧縮残渣	7,093
		資源化	60,286
処理合計		243,059	
リサイクル率 (%)		25.5	
1人1日当たりごみ総排出量(g)		939	

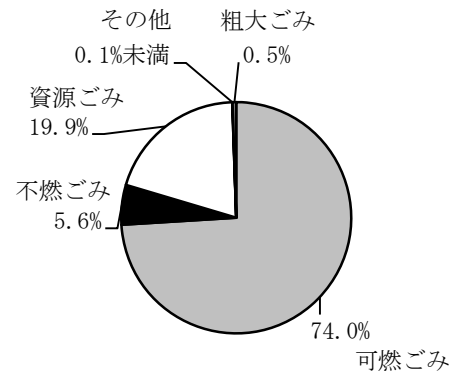


図2-1 ごみの収集内訳

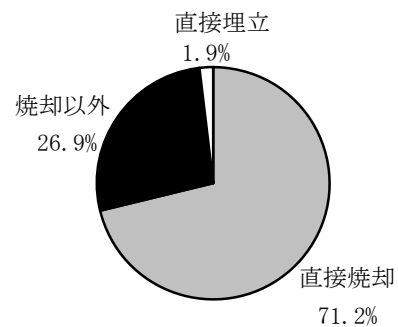


図2-2 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値  
 リサイクル率 (%) = (資源化量+集団回収量) / (処理合計+集団回収量) × 100  
 処理合計=直接焼却+焼却以外+直接埋立

## (2) 各地区の状況

### <松江地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-2、ごみの収集内訳を図 2-3、ごみの処理内訳を図 2-4 に示す。

平成 24 年度に当地区内から排出されたごみ量は 90,641t であり、収集内訳は、可燃ごみ 69.9%、不燃ごみ 1.8%、資源ごみ 27.5%、粗大ごみ 0.7%であった。

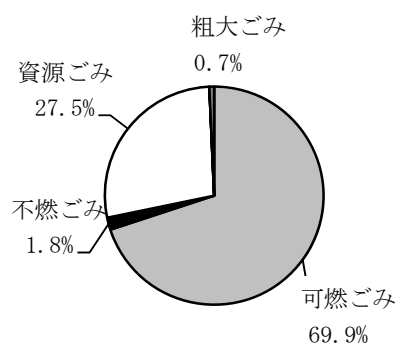
処理内訳では、64,850t(71.7%)が直接焼却され、25,202t(27.9%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの 423t(0.5%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 28,784t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 28,950t が資源化された。

表2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

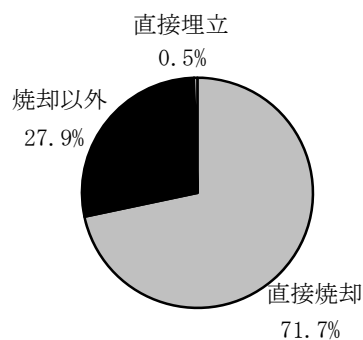
松江地区		平成24年度	
計画収集量		83,413	
収集内訳	可燃ごみ	58,338	
	不燃ごみ	1,504	
	資源ごみ	22,977	
	その他	0	
	粗大ごみ	594	
直接搬入量		7,062	
集団回収量		166	
総排出量		90,641	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	64,850
		焼却以外	25,202
	最終処分	直接埋立	423
		焼却残渣	1,602
		破碎圧縮残渣	367
	資源化		28,784
処理合計		90,475	
リサイクル率 (%)		31.9	
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		997	

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値  
 リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-3 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-4 ごみの処理内訳

## <出雲地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-3、ごみの収集内訳を図2-5、ごみの処理内訳を図2-6に示す。

平成24年度に当地区内から排出されたごみ量は79,265tであり、収集内訳は、可燃ごみ77.5%、不燃ごみ9.6%、資源ごみ12.9%、粗大ごみ0.1%、その他0.1%未満であった。

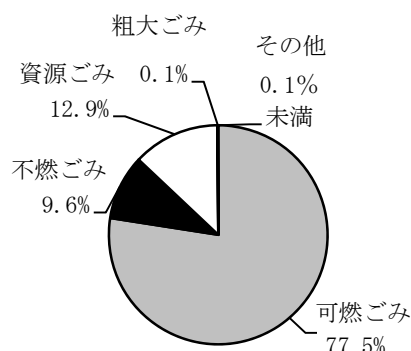
処理内訳では、51,915t(67.0%)が直接焼却され、21,679t(28.0%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り3,848t(5.0%)は直接埋立とされている。

当地区全体で16,087tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると17,754tが資源化された。

表2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

出雲地区		平成24年度	
計画収集量		69,557	
収集内訳	可燃ごみ	53,882	
	不燃ごみ	6,656	
	資源ごみ	8,950	
	その他	18	
	粗大ごみ	51	
直接搬入量		8,041	
集団回収量		1,667	
総排出量		79,265	
自家処理量		172	
処理内訳	中間	直接焼却	51,915
		焼却以外	21,679
	最終処分	直接埋立	3,848
		焼却残渣	4,875
		破碎圧縮残渣	2,667
	資源化		16,087
処理合計		77,442	
リサイクル率 (%)		22.4	
1人1日当たりごみ総排出量(g)		916	

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値  
 リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-5 ごみの収集内訳

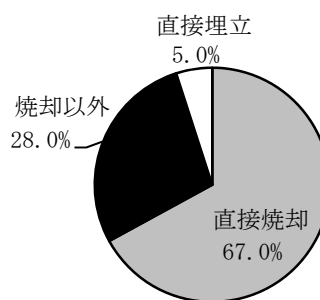


図2-6 ごみの処理内訳

## <浜田地区>

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表2-4、ごみの収集内訳を図2-7、ごみの処理内訳を図2-8に示す。

平成24年度に当地区内から排出されたごみ量は65,671tであり、収集内訳は、可燃ごみ75.0%、不燃ごみ6.2%、資源ごみ18.0%、粗大ごみ0.7%であった。

処理内訳では、47,962t(73.8%)が直接焼却され、16,989t(26.2%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り12t(0.1%未満)は直接埋立とされている。

当地区全体で14,687tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると15,158tが資源化された。

表2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

浜田地区		平成24年度	
計画収集量		56,660	
収集内訳	可燃ごみ	42,470	
	不燃ごみ	3,535	
	資源ごみ	10,219	
	その他	50	
	粗大ごみ	386	
直接搬入量		8,540	
集団回収量		471	
総排出量		65,671	
自家処理量		269	
処理内訳	中間	直接焼却	47,962
		焼却以外	16,989
	最終処分	直接埋立	12
		焼却残渣	2,347
		破碎圧縮残渣	3,316
	資源化		14,687
処理合計		64,963	
リサイクル率 (%)		23.2	
1人1日当たり ごみ総排出量(g)		858	

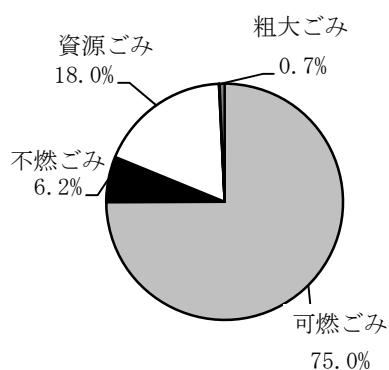


図2-7 ごみの収集内訳

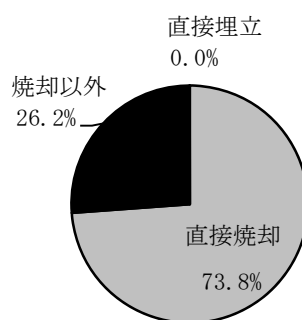


図2-8 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

## < 隠岐地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-5、ごみの収集内訳を図 2-9、ごみの処理内訳を図 2-10 に示す。

平成 24 年度に当地区内から排出されたごみ量は 10,178t であり、収集内訳は、可燃ごみ 85.5%、不燃ごみ 4.6%、資源ごみ 8.1%、粗大ごみ 1.8%であった。

処理内訳では 8,331t (81.8%) が直接焼却され、1,562t (15.3%) は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 286t (2.8%) は直接埋立とされている。

当地区全体で 728t がごみから分別・資源化された。

表2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

隠岐地区		平成24年度	
計画収集量		4,256	
収集内訳	可燃ごみ	3,639	
	不燃ごみ	196	
	資源ごみ	344	
	その他	0	
	粗大ごみ	77	
直接搬入量		5,922	
集団回収量		0	
総排出量		10,178	
自家処理量		0	
処理内訳	中間	直接焼却	8,331
		焼却以外	1,562
	最終処分	直接埋立	286
		焼却残渣	1,497
		破碎圧縮残渣	743
	資源化		728
処理合計		10,179	
リサイクル率 (%)		7.2	
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		1,296	

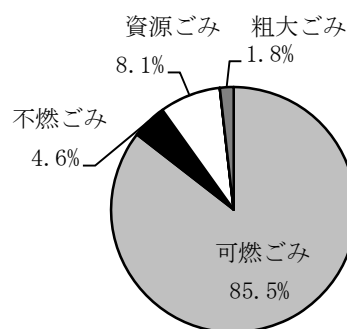
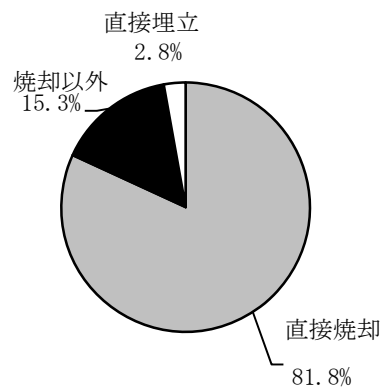


図2-9 ごみの収集内訳



※四捨五入しているため合計が 100% にならない。

図2-10 ごみの処理内訳

注) 1人1日当たりごみ総排出量は外国人を含んだ数値

リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100

処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

### 3. ごみ処理施設の状況

#### (1) 全県の状況

平成 24 年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-1、2 に示す。

県内の稼働中のごみ焼却施設は 10 施設(処理能力 708.56 t/日)、ごみ燃料化施設は、1 施設(処理能力 30t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は 2 施設、資源化等施設は 21 施設、粗大ごみ処理施設は 13 施設、保管施設は 15 施設である。

埋立中の最終処分場は 28 施設あり、全体埋立容量は 1,984,853m<sup>3</sup>、残余容量は 726,348m<sup>3</sup>となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施 設	施設数 <sup>※1</sup>	処理能力(t/日)	残余容量 (H25.3月末)
ごみ焼却施設	10	708.56	—
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	2	60	—
資源化等の施設	21	231.87	—
粗大ごみ処理施設	13	248.9	—
保管施設	15	17,468 (t/年度) <sup>※2</sup>	—
最終処分場	28	1,984,853 (m <sup>3</sup> )	726,348 (m <sup>3</sup> )

※1. 埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、平成 24 年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種 類	焼 却		ガス化溶融	ごみ燃料化 (RDF)	合 計
	全連続	バッチ	全連続		
炉 型 式	全連続	バッチ	全連続		
施 設 数	1	6	3	1	11
規 模 (t/日)	62	75.56	571	30	738.56

※ごみ燃料化施設 (RDF) 及びガス化溶融施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設に含めて計上した。

## (2) 各地区の状況

### <松江地区>

#### ①松江市

松江市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-3、4に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力255t/日)にて、全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は7施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は6施設あり、全体埋立容量は767,541m<sup>3</sup>、残余容量は142,266m<sup>3</sup>となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
ごみ焼却施設	1	255	—
資源化等の施設	7	98.7	—
粗大ごみ処理施設	1	59	—
保管施設	2	13,014 (t/年度) <sup>※1</sup>	—
最終処分場 <sup>※2</sup>	6	767,541 (m <sup>3</sup> )	142,266 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、平成24年度保管量である。

2. 埋立終了の施設は含まない。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
松江市	エコクリーン松江	255	ガス化溶融	全連続



②安来市

安来市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-5、6 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 52 t/日)で平成 19 年 4 月 25 日より休止中である。

粗大ごみ処理施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 99,304m<sup>3</sup>、残余容量は 53,781m<sup>3</sup>となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
粗大ごみ処理施設	3	30.9	—
最終処分場	3	99,304 (m <sup>3</sup> )	53,781 (m <sup>3</sup> )

表3-6 焼却施設の状況(休止中)

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
安来市	安来市清瀬 クリーンセンター	52	焼却	准連続

※1. ごみ焼却施設は平成 19 年 4 月 25 日より休止中。

## <出雲地区>

### ①奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-7、8に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力20t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は61,800m<sup>3</sup>、残余容量は32,427m<sup>3</sup>となっている。

表3-7 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
ごみ焼却施設	1	20	—
粗大ごみ処理施設	1	7	—
保管施設	1	188 (t/年度) <sup>※1</sup>	—
最終処分場 <sup>※2</sup>	1	61,800 (m <sup>3</sup> )	32,427 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、平成24年度保管量である。

※2. 埋立終了の施設は含まない。

表3-8 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物 処理センター	20	焼却	バッチ

②雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表 3-9～11 に示す。

雲南市のうち旧大東町・旧加茂町・旧木次町・旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。また、雲南市のうち旧吉田村・旧掛合町、飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は2施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は41,300m<sup>3</sup>、残余容量は25,093m<sup>3</sup>となっている。

表3-9 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
ごみ燃料化施設	1	30	—
中継施設	1	15	—
資源化等の施設	2	14.9	—
保管施設	2	599(t/年度) <sup>※1</sup>	—
最終処分場	3	41,300 (m <sup>3</sup> )	25,093 (m <sup>3</sup> )

※1.埋立終了の施設は含まない。

表3-10 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30	ごみ燃料化

表3-11 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいし クリーンセンター	15	圧縮・梱包

③出雲市

出雲市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-12、13 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 218 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)処理が行われている。

資源化等施設は 3 施設、粗大ごみ処理施設は 3 施設、保管施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 4 施設あり、全体埋立容量は 528, 231m<sup>3</sup>、残余容量は 310, 827m<sup>3</sup>となっている。

表3-12 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
ごみ焼却施設	1	218	—
資源化等の施設	3	75	—
粗大ごみ処理施設	3	83	—
保管施設	3	0(t/年度) <sup>※1</sup>	—
最終処分場 <sup>※2</sup>	4	528, 231 (m <sup>3</sup> )	310, 827 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、平成 24 年度保管量である。

2. 埋立終了の施設は含まない。

表3-13 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	218	ガス化溶融(キルン式)	全連続

＜浜田地区＞

①大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-14、15 に示す。

可燃ごみ処理は、中継施設において、破碎・圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は 4 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 4 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 112,648m<sup>3</sup>、残余容量は 5,800m<sup>3</sup>となっている。

表3-14 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
中継施設	1	45	—
資源化等の施設	4	13	—
粗大ごみ処理施設	1	25	—
保管施設	4	1,302 (t/年度) <sup>※</sup>	—
最終処分場	3	112,648 (m <sup>3</sup> )	5,800 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、平成 24 年度保管量である。

表3-15 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
大田市	大田可燃物 中間処理施設	45	破碎・圧縮・梱包

②川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-16、17に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力12t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は14,300m<sup>3</sup>、残余容量は6,062m<sup>3</sup>となっている。

表3-16 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
ごみ焼却施設	1	12	—
資源化等の施設	1	1.7	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	1,490 (t/年度) <sup>※</sup>	—
最終処分場	1	14,300 (m <sup>3</sup> )	6,062 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、平成24年度保管量である。

表3-17 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	笹畑クリーンセンター ごみ焼却施設	12	焼却	バッチ

### ③浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-18、19 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 98 t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 2 施設あり、全体埋立容量は 105,000m<sup>3</sup>、残余容量は 67,406m<sup>3</sup>となっている。

表3-18 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
ごみ焼却施設	1	98	—
資源化等の施設	1	2.77	—
粗大ごみ処理施設	2	34	—
最終処分場*	2	105,000 (m <sup>3</sup> )	67,406 (m <sup>3</sup> )

※埋立終了の施設は含まない。

表3-19 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域 行政組合	エコクリーン センター	98	ガス化溶融 (シャフト式)	全連続

④益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-20、21に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力62t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は2施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は2施設あり、全体埋立容量は149,729m<sup>3</sup>、残余容量は26,941m<sup>3</sup>となっている。

表3-20 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
ごみ焼却施設	1	62	—
資源化等の施設	2	22.1	—
保管施設	1	831(t/年度) <sup>※1</sup>	—
最終処分場 <sup>※2</sup>	2	149,729 (m <sup>3</sup> )	26,941 (m <sup>3</sup> )

※1. 保管施設の処理能力は、平成24年度保管量である。

2. 埋立終了の施設は含まない。

表3-21 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
益田地区広域 市町村圏事務組合	益田地区広域 クリーンセンター	62	焼却	全連続



<隠岐地区>

①海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-22、23 に示す。

海士町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 7t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 12,000m<sup>3</sup>、残余容量は 6,464m<sup>3</sup>となっている。

表3-22 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
ごみ焼却施設	1	7	—
資源化等の施設	1	1	—
粗大ごみ処理施設	1	5	—
保管施設	1	46 (t/年度)*	—
最終処分場	1	12,000 (m <sup>3</sup> )	6,464 (m <sup>3</sup> )

\*保管施設の処理能力は、平成 24 年度保管量である。

表3-23 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町清掃センター	7	焼却	バッチ

②西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-24、25 に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 10t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 13,000m<sup>3</sup>、残余容量は 3,106m<sup>3</sup>となっている。

なお、資源ごみは海士町の資源化施設にて処理している。

表3-24 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
ごみ焼却施設	1	10	—
最終処分場	1	13,000 (m <sup>3</sup> )	3,106 (m <sup>3</sup> )

表3-25 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	西ノ島町 ごみ焼却場清美苑	10	焼却	バッチ

③知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-26、27 に示す。

知夫村のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

なお、資源ごみ及び焼却残渣は海士町の資源化施設と最終処分場にて処理・処分している。

表3-26 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
ごみ焼却施設	1	1.56	—

表3-27 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
知夫村	知夫村ゴミ焼却場	1.56	焼却	バッチ

④隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-28、29 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 25 t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 80,000m<sup>3</sup>、残余容量は 48,175m<sup>3</sup>となっている。

表3-28 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H25.3月末)
ごみ焼却施設	1	25	—
資源化等の施設	1	2.7	—
最終処分場*	1	80,000 (m <sup>3</sup> )	48,175 (m <sup>3</sup> )

\*埋立終了の施設は含まない。

表3-29 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25	焼却	バッチ

## 4. ごみ減量化・資源化状況

### (1) 全県の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

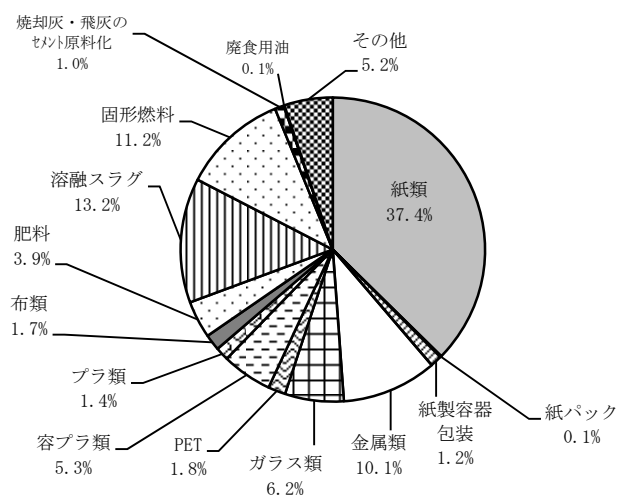
平成24年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は60,286tであった。その内、紙類が22,522t(37.4%)で最も多く、次に、熔融スラグ7,976t(13.2%)、固形燃料6,770t(11.2%)であった。

また、集団回収により資源化された量は2,304tであり、紙類が2,076t(90.1%)とほとんどを占めている。

表4-1 資源化の状況

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	22,522	84	748	6,088	3,763	1,114	3,216	862
集団回収	2,076	4	0	133	42	0	0	0

区分	布類	肥料	熔融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	1,030	2,381	7,976	6,770	582	45	3,105	60,286
集団回収	49	-	-	-	-	0	0	2,304



※四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-1 市町村による資源化の内訳

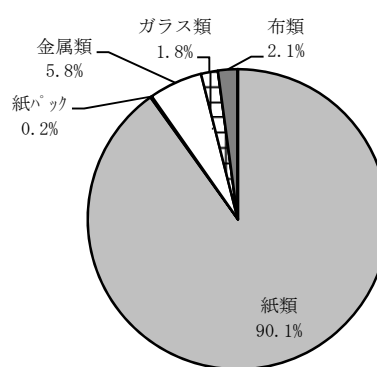


図4-2 集団回収の内訳

## (2) 各地区の状況

### <松江地区>

当地区における資源化の状況を表 4-2、市町村による資源化の内訳を図 4-3、集団回収の内訳を図 4-4 に示す。

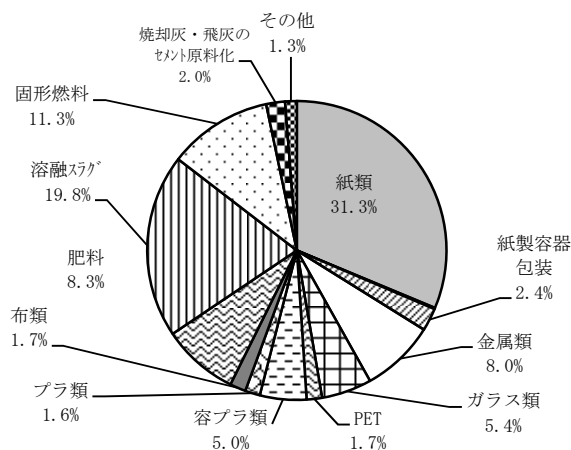
平成 24 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 28,784t であった。その内、紙類が 9,002t (31.3%) で最も多く、次に、溶融スラグ 5,710t (19.8%)、固形燃料 3,244t (11.3%) であった。

また、集団回収により資源化された量は 166t であり、すべてが紙類である。

表4-2 資源化の状況

区 分	紙類	紙ハック	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装 プラ	プラ類
市町村	9,002	41	705	2,303	1,564	476	1,449	464
集団回収	166	0	0	0	0	0	0	0

区 分	布類	肥料	溶融 スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰 のセメント 原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	498	2,381	5,710	3,244	582	0	365	28,784
集団回収	0	-	-	-	-	0	0	166



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-3 市町村による資源化の内訳

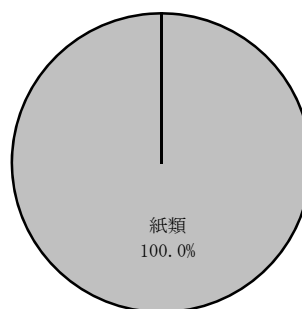


図4-4 集団回収の内訳

## <出雲地区>

当地区における資源化の状況を表 4-3、市町村による資源化の内訳を図 4-5、集団回収の内訳を図 4-6 に示す。

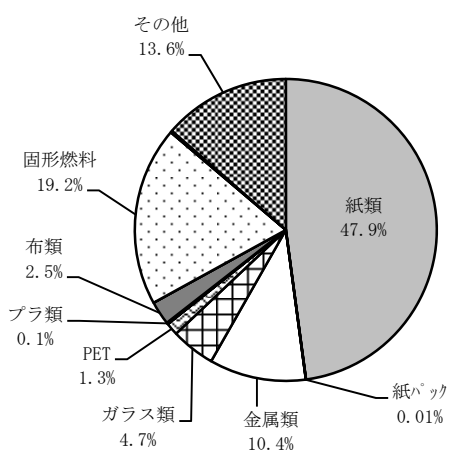
平成 24 年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 16,087t であった。その内、紙類が 7,700t (47.9%) で最も多く、次に固形燃料 3,091t (19.2%)、その他 2,187t (13.6%) であった。

また、集団回収により資源化された量は 1,667t であり、紙類が 1,507t (90.4%) とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況

区 分	紙類	紙ﾊﾟｯｸ	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装 プラ	プラ類
市町村	7,700	2	0	1,667	758	217	0	24
集団回収	1,507	2	0	113	17	0	0	0

区 分	布類	肥料	溶融 スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰 のセメント 原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	409	0	0	3,091	0	32	2,187	16,087
集団回収	28	-	-	-	-	0	0	1,667



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-5 市町村による資源化の内訳

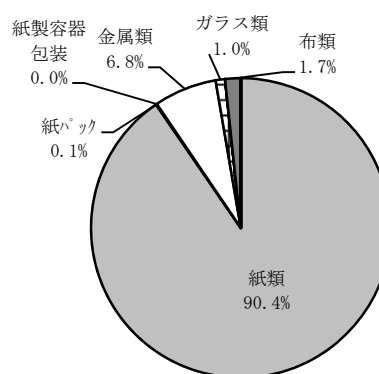


図4-6 集団回収の内訳

<浜田地区>

当地区における資源化の状況を表 4-4、市町村による資源化の内訳を図 4-7、集団回収の内訳を図 4-8 に示す。

平成 24 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 14,687t であった。その内、紙類が 5,519t (37.6%) で最も多く、次に溶融スラグ 2,266t (15.4%)、金属類 1,827t (12.4%) であった。

また、集団回収により資源化された量は 471t であり、紙類が 403t (85.6%) とほとんどを占めている。

表4-4 資源化の状況

区 分	紙類	紙ハック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装プラ	プラ類
市町村	5,519	41	43	1,827	1,368	405	1,767	371
集団回収	403	2	0	20	25	0	0	0

区 分	布類	肥料	溶融スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰のセメント原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	123	0	2,266	435	0	12	510	14,687
集団回収	21	-	-	-	-	0	0	471

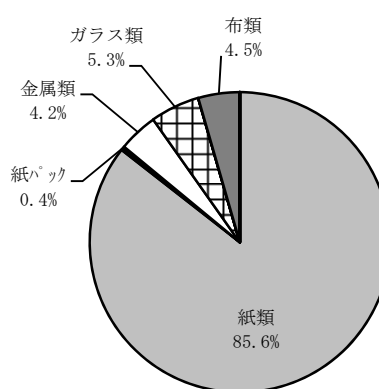
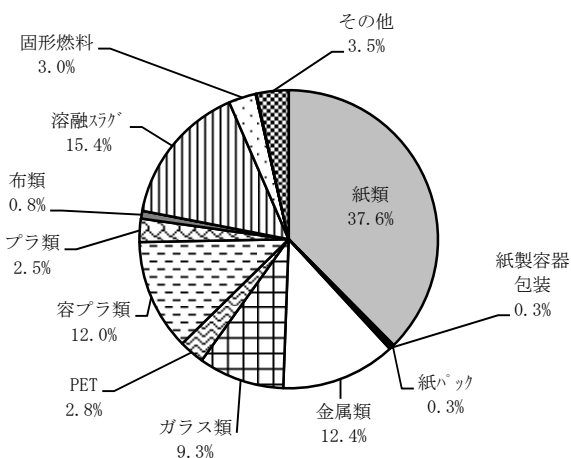


図4-7 市町村による資源化の内訳

図4-8 集団回収の内訳



< 隠岐地区 >

隠岐地区における資源化の状況を表 4-5、市町村による資源化の内訳を図 4-9 に示す。

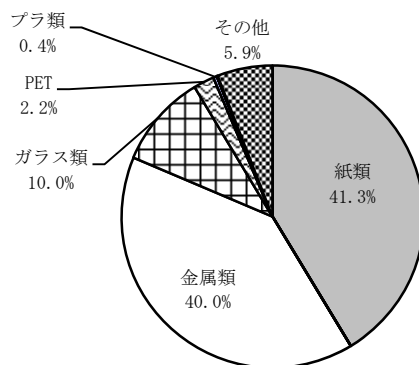
平成 24 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 728t であった。その内、紙類が 301t (41.3%) で最も多く次に金属類 291t(40.0%)、ガラス類 73t (10.0%) であった。

なお、集団回収は行われていない。

表4-5 資源化の状況

区 分	紙類	紙ハック	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	容器包装 プラ	プラ類
市町村	301	0	0	291	73	16	0	3

区 分	布類	肥料	溶融 スラグ	固形燃料	焼却灰・飛灰 のセメント 原料化	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	0	-	-	-	-	1	43	728



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-9 市町村による資源化の内訳

## 5. 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

平成25年度（平成26年1月1日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業について表5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況（生活系、事業系）について表5-2～4、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表5-5、事業予算額の内訳について図5-1に示す。

不法投棄防止事業に取り組んでいる自治体は半数を占めており、予算も多く使われている。

表5-1 平成25年度（平成26年1月1日現在）ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業

事業類型	事業名	自治体数	当初予算額(千円)
啓発資料作成等	パンフレット作成	5	1,881
イベント等の開催	イベントの開催	5	1,302
住民と事業者との連携	廃棄物減量化等協議会開催	4	603
ごみ減量化に関する助成	資源ごみ団体回収への助成	3	4,902
	生ごみ堆肥化装置の設置補助	9	4,537
	資源ごみ回収機器の貸出	2	0
啓発事業等	不法投棄防止事業	11	12,471
	リサイクル啓発事業	4	911
	ボランティア活動への支援	1	2
	事業系ごみ減量化推進事業	1	1,892
合 計		45	28,501

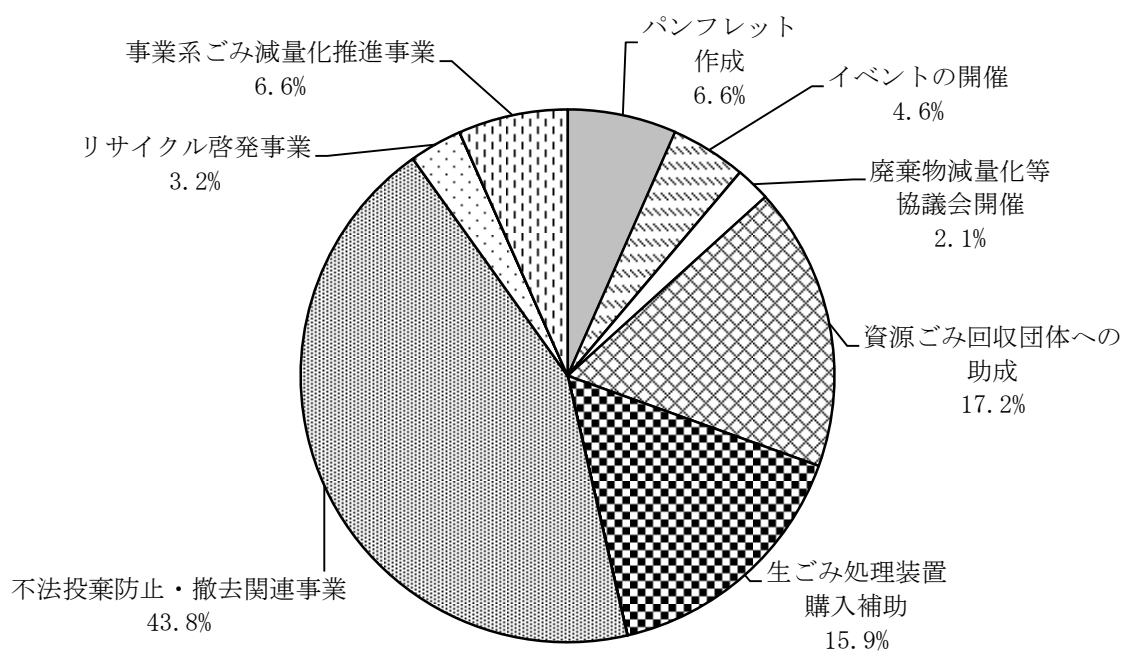


図5-1 平成25年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予算額の内訳

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成25年度(平成26年1月1日現在)

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1枚あたり	
松江市	可燃	半透明(さくら色)	10/20/30/45 L	10/20/30/40 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(水色)	20/30/45 L	14/16/19 円	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	緑	10/20/50L	21/31.5/42 円	中密度ポリエチレン
	不燃	青	5/10/20/50L	10.5/21/31.5/42 円	低密度ポリエチレン
	資源(びん)	灰色	10/20/50L	10.5/17.5/21 円	低密度ポリエチレン
	資源(缶)	橙			
資源(ペットボトル)	水色				
出雲市	可燃	白色(緑字)	10/25/45L	15/30/50 円	高密度ポリエチレン
	不燃(破碎ごみ)	黄色(緑字)	25/45L	30/50 円	低密度ポリエチレン
	不燃(埋立ごみ)	赤色(緑字)			
	資源	透明(青字)	25/45L	5/10 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃(大)	半透明(黄色)	800×600/420mm	60 円	高密度ポリエチレンローションLL(柔軟材)
	〃(小)	〃	700×540/350mm	40 円	10%混入
		〃	590×480/330mm	30 円	
	不燃	半透明(薄色)	870×650/460mm	50 円	低密度ポリエチレン
		〃	700×550/390mm	30 円	
	資源	透明(無色)	870×650/460 mm	20 円	低密度ポリエチレン
			700×540/350mm	15 円	
大田市	可燃	透明(黄)	20/30/45L	25/30/50 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	20/30/45L	20/30/50 円	低密度ポリエチレン
	資源	無色透明	30/45L	15/20 円	低密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄)	15/30/45L	25/35/45 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(無色)	15/30/45L	25/30/35 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(無色)	15/30/45L	25/30/35 円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	半透明(黄)	15/30/45L	15/20/30 円	高密度ポリエチレン
雲南市	可燃	半透明(黄)	20/40 L	30/44 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/45 L	32/42 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/45 L	32/42 円	低密度ポリエチレン
奥出雲町	可燃	乳白色(青字)	25/45 L	25/45 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明	25/45 L		低密度ポリエチレン
	資源	(青字, 緑字, 黄字) 透明(赤字)	250/45 L		低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	半透明(黄)	20/30/40/45 L	30/42/44/63 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/40 L	32/42 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/40 L	32/42 円	低密度ポリエチレン
川本町	可燃	半透明(白)	15/35 L	31.5/63 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	45 L		
	資源(ビン)	半透明(白)	25 L	15.7 円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45 L		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45 L		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	157 円/1シート5枚	紙	
美郷町	可燃	半透明(白)	15/35 L	31.5/63 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25 L	31.5 円	高密度ポリエチレン
	資源(ビン)	半透明(白)	25 L	15.7 円	高密度ポリエチレン
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45 L		
	資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
	資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45 L		
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	157 円/1シート5枚	紙	

注)1. 材質は市町村の調査結果を記載している。  
2. 一定枚数無料配布している自治体も含む。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成25年度(平成26年1月1日現在)

市町村	区分	ごみ区分	色	容量	値段	材質
					1枚あたり	
邑南町		可燃	半透明(白)	15/35 L	31.5/63 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(白)	25 L	31.5 円	高密度ポリエチレン
		資源(ビン)	半透明(白)	25 L	15.7 円	高密度ポリエチレン
		資源(カン)	半透明(薄緑色)	45 L		
		資源(容器包装プラ)	半透明(桃色)	45 L		
		資源(容器包装紙)	半透明(黄緑色)	45 L		
		資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 L		
粗大	白色シール	5枚綴り/シート	157 円/1シート5枚	紙		
津和野町		可燃	半透明(オレンジ)	290×750mm 490×800mm	30/50 円	高密度ポリエチレン
		資源(容包プラ) (商品プラ) (缶類) (びん類)	透明(桃色文字) 透明(黄文字) 透明(黒文字) 透明(青文字)	290×750mm 490×800mm	30/50 円	高密度ポリエチレン
吉賀町		可燃	半透明(赤字)	800×600 mm	50 円	高密度ポリエチレン
		〃	〃	650×500 mm	33.3 円	
		不燃(ビン) (カン)	半透明(青字) 半透明(赤字)	400×600mm 650×800 mm	50 円 〃	低密度ポリエチレン
海士町		資源(容プラ) (商プラ)	半透明(ピンク字) 半透明(黄字)	650×800 mm 〃	50 円 〃	高密度ポリエチレン
		可燃	チケット		70 円	紙
知夫村		不燃	チケット		70 円	紙
		資源	チケット 半透明(黄)	800×600 mm	70 円 〃	紙 ポリエチレン(酸化鉄配合)
		可燃	透明(黄色)	15/20/30 L	30/60/100 円	フェノキト <sup>®</sup> PE
西ノ島町		不燃	券		200/1000 円券	
		資源(ビン)	透明(黄色)	30 L	140 円	フェノキト <sup>®</sup> PE
		資源(カン)	〃	45 L	140 円	
		資源(ペット)	〃	30/45 L	70/140 円	
隠岐の島町		可燃	チケット		80 円	紙
		不燃	チケット		80 円	紙
		資源	半透明	690×550 mm	無料	高密度ポリエチレン
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南エネルギー センター)		可燃	半透明(オレンジ)	20/40L (手さげ型)	30/44 円	高密度ポリエチレン 0.025mm
		不燃	半透明(青)	20/40 L	32/42 円	低密度ポリエチレン 0.04mm
		資源	半透明(緑)	20/40 L	32/42 円	低密度ポリエチレン 0.04mm
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしクリーン センター)		可燃	半透明(黄)	30/45 L 20/40 L	42/63 円 30/44 円	高密度ポリエチレン
		不燃	半透明(青)	20/40 L	32/42 円	低密度ポリエチレン
		資源	半透明(緑)	20/40 L	32/42 円	低密度ポリエチレン
鹿足郡不燃物 処理組合		不燃	半透明	45 L	50 円	高密度ポリエチレン

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成25年度(平成26年1月1日現在)

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値段	材 質
				1枚あたり	
松江市	可燃	半透明(白)	30/45 L	自由設定	炭酸カルシウム入り高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(黄)	30/45 L	自由設定	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	黄	50 L	84 円	中密度ポリエチレン
	不燃	桃	50 L	84 円	低密度ポリエチレン
	資源	茶	50 L	84 円	低密度ポリエチレン
出雲市	可燃	白色(緑字)	45 L	120 円	高密度ポリエチレン
	不燃	黄色(緑字) 赤色(緑字)	45 L	120 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃	半透明(青)	800×600/420mm	100 円	高密度ポリエチレン
大田市	可燃	半透明(緑)	45 L	100 円	高密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄) +事業用収集券	15/30/45 L	25/35/45 円 100 円(収集券)	高密度ポリエチレン
	不燃・資源	透明 +事業用収集券	15/30/45 L	25/30/35 円 100 円(収集券)	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	半透明(黄)	15/30/45 L	15/20/30 円	高密度ポリエチレン
奥出雲町	可燃	乳白色(青字)	30/45 L	25/45 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明 (青字, 緑字, 黄字)	30/45 L	25/45 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(赤字)	30/45 L	25/45 円	低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	半透明(黄)	20/30/40/45 L	30/42/44/63 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/45 L	32/42 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/45 L	32/42 円	低密度ポリエチレン
津和野町	可燃	オレンジ	290×750mm 490×800mm	30/50 円	高密度ポリエチレン
	資源(容ア) (商品ア) (缶類) (びん類)	桃 黄 黒緑 青緑	290×750mm 490×800mm	30/50 円 " " "	高密度ポリエチレン " 低密度ポリエチレン "
吉賀町	可燃	半透明(赤字)	800×600 mm	50 円	高密度ポリエチレン
	"	"	650×500 mm	33.3 円	"
	不燃(ビン) (カン)	半透明(青字) 半透明(黒字)	400×600mm 650×800 mm	50 円 "	低密度ポリエチレン "
	資源(容ア) (商ア)	半透明(ピンク字) 半透明(黄字)	650×800 mm "	50 円 "	高密度ポリエチレン "
海士町	可燃	チケット		70 円	紙
	不燃	チケット		70 円	紙
	資源	チケット 半透明(黄)	600×800 mm	70 円 "	紙 ポリエチレン(酸化鉄配合)
西ノ島町	可燃	チケット		80 円	紙
雲南市・飯南町 事務組合 (いいしクリーン センター)	可燃	半透明(黄)	30/45 L 20/40 L	42/63 円 30/44 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/40 L	32/42 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/40 L	32/42 円	低密度ポリエチレン

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 生ごみ処理機等の購入に対する補助(平成25年度)

市町村名	補助基準	備 考
松江市	補助率 1/3、上限 100 万円	事業者
浜田市	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
出雲市 (斐川地区)	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/2、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり2基まで)
益田市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 15 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
大田市	補助率 1/2、上限 3 千円	1世帯当たり2基まで
安来市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 25 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
川本町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
津和野町	補助率 1/2、上限 3.5 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
西ノ島町	補助率 1/2、上限 20 千円(町内購入) 補助率 1/3、上限 10 千円(町外購入)	1世帯当たり1基まで (新規及び買替分も対象)

## 6. し尿処理の概要

### (1) 衛生処理人口

県内のし尿処理人口及び処理量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

平成 24 年度（外国人含む）における県内の水洗化人口は、552,401 人(77%)、非水洗化人口は、164,888 人(23%)である。水洗化人口は前年の 1.3%増で、平成 20 年度と比べると 3.2%増加している。

表6-1 し尿の処理人口及び処理量

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
総人口(人)	732,013	728,413	722,177	717,167	717,289
水洗化人口(人)	535,349	536,519	544,297	545,559	552,401
下水道人口(人)	252,546	254,405	261,788	263,304	273,102
コミュニティ・プラント人口(人)	4,644	4,608	4,538	4,503	4,465
浄化槽人口(人)	278,159	277,506	277,971	277,752	274,834
非水洗化人口(人)	196,664	191,894	177,880	171,608	164,888
計画収集人口(人)	190,201	186,836	172,756	166,890	160,540
自家処理人口(人)	6,463	5,058	5,124	4,718	4,348
総処理量(kL/年)	304,095	301,390	288,040	287,066	279,315
し尿計画処理量(kL/年)	123,798	118,747	111,061	107,782	102,066
自家処理量(kL/年)	3,885	3,461	2,748	3,532	3,356
浄化槽汚泥計画処理量(kL/年)	176,412	179,182	174,231	175,752	173,893

注) 平成 24 年度には外国人含む。  
 総人口＝水洗化人口＋非水洗化人口  
 水洗化人口＝下水道人口＋コミュニティ・プラント人口＋浄化槽人口  
 非水洗化人口＝計画収集人口＋自家処理人口

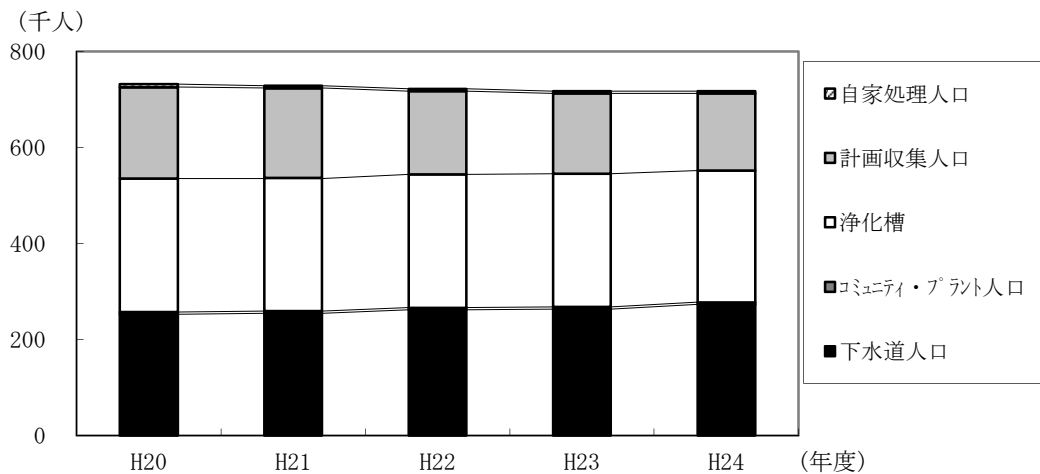
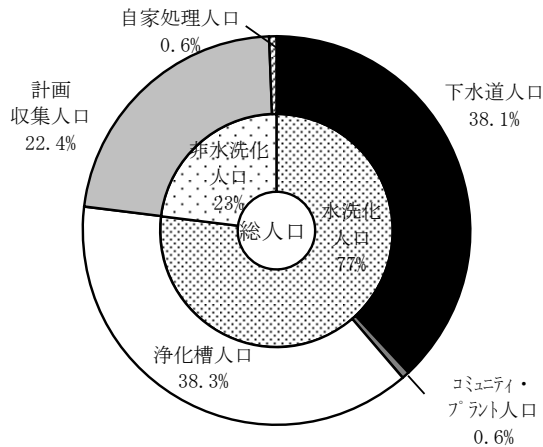


図6-1 衛生処理人口の推移



注) 総人口 (外国人含む) = 水洗化人口 + 非水洗化人口  
 水洗化人口 = 公共下水道人口 + コミュニティ・プラント人口 + 浄化槽人口  
 非水洗化人口 = 計画収集人口 + 自家処理人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

## (2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表6-2、総処理量の内訳を図6-3に示す。

平成24年度における県内の総処理量は、279,082kLで、前年より約2.8%減少している。

内訳は浄化槽汚泥計画処理量が62.4%、し尿計画処理量が36.4%、自家処理量1.2%となっている。

1人1日当たりし尿計画処理量は1.73L/人・日、1人1日当たり浄化槽汚泥処理量は1.71L/人・日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分		平成24年度
総処理量 (kL/年)		279,082
内訳	し尿計画処理量	101,531
	自家処理量	3,356
	浄化槽汚泥計画処理量	174,195
し尿計画処理量 (kL/年)		101,531
内訳	下水道投入	141
	し尿処理施設	101,375
	農村還元	15
浄化槽汚泥計画処理量 (kL/年)		174,195
内訳	下水道投入	521
	し尿処理施設	173,579
	農村還元	95
1日1人当たりし尿計画処理量 (L/人・日)		1.73
1日1人当たりし尿排出量 (L/人・日)		1.74
1日1人当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人・日)		1.71

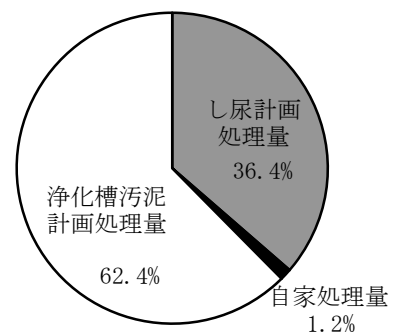


図6-3 総処理量の内訳

注) 総処理量 (kL/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥計画処理量  
 1人1日当たりし尿計画処理量 (L/人・日) = し尿計画処理量 / 計画収集人口 / 365日 × 103  
 1人1日当たりし尿排出量 (L/人・日) = (し尿計画処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 365日 × 103  
 1人1日当たり浄化槽汚泥処理量 (L/人・日) = 浄化槽汚泥処理量 / (浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口) / 365日 × 103



### (3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表 6-3、浄化槽の設置状況を表 6-4、浄化槽の設置状況の推移を図 6-4 に示す。

平成 24 年度の県内のし尿処理施設数は 12 施設（処理能力 856kL/日）である。また、コミュニティ・プラント数（稼働中）は 8 施設（計画最大汚水量 2,334m<sup>3</sup>/日）である。

浄化槽設置数は合計 68,316 基で、去年より 116 基減少している。

平成 24 年度の浄化槽設置基数（個人設置型）は 522 基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設						コミュニティ・プラント
	好二段	標 脱	高負荷	高負荷膜分離	高負荷一次処理	合計	
施 設 数	1	2	4	4	1	12	8
規 模 (kL/日)	40	117	218	411	70	856	2,334(m <sup>3</sup> /日)

注 1) 好二段……好気性処理のうち二段活性汚泥処理方式  
 高負荷……高負荷脱窒素処理方式  
 一次処理……一次処理後に下水道に放流  
 標脱…標準脱窒素処理方式（旧低二段）  
 膜分離…膜分離処理方式

注 2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m<sup>3</sup>/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

区 分	浄 化 槽 設 置 基 数				
規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
設 置 数	67,357	759	109	91	68,316

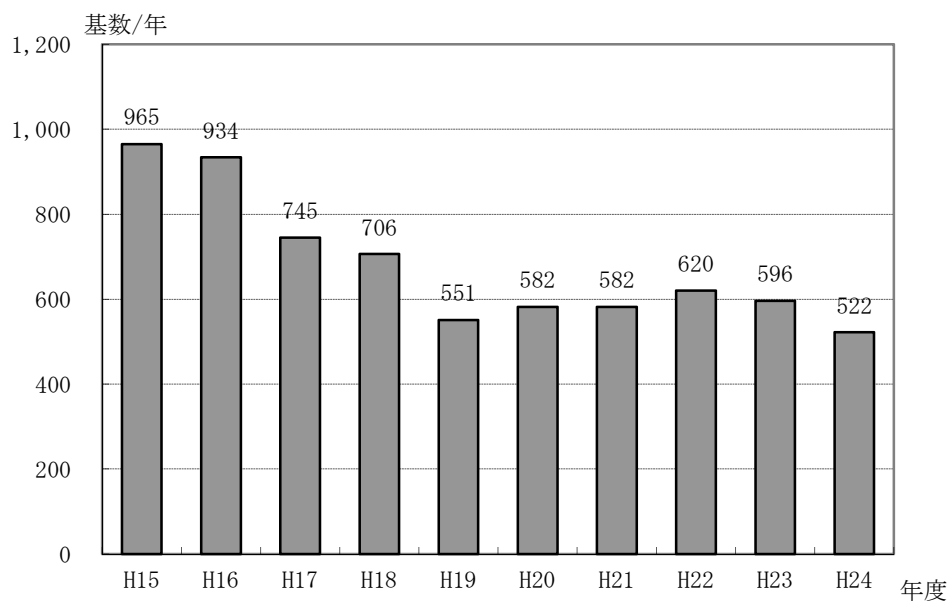


図6-4 浄化槽設置基数（個人設置型）の推移

## 7. 一般廃棄物処理事業の実態

### 7-1 廃棄物処理事業経費の概要

#### (1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要

県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

平成 24 年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 12,981,029 千円であり、前年より約 9%増加している。経費の内訳はごみ処理が 10,614,869 千円、し尿処理が 2,366,160 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

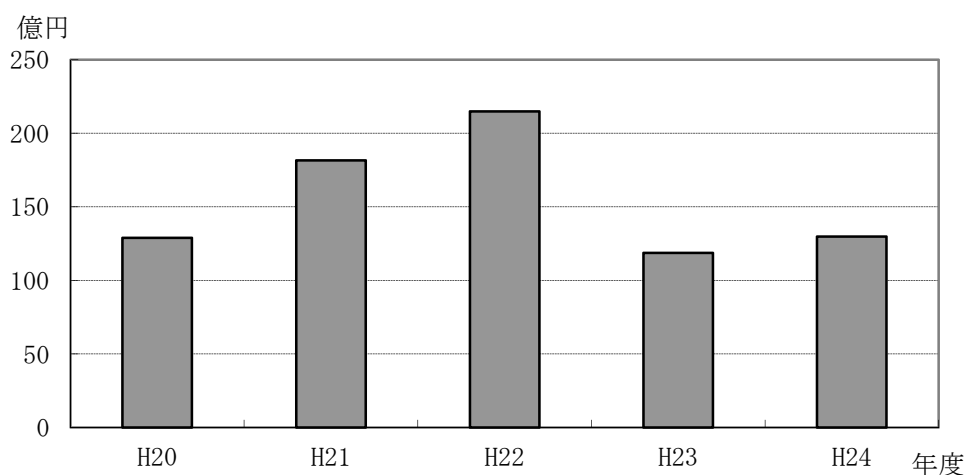


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(県全体)

#### (2) 地区別のごみ処理事業経費の概要

地区別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、地区別の内訳を図 7-5 に示す。

地区別におけるごみ処理経費は、浜田地区が 4,011,140 千円 (37.8%) と最も多く、次いで松江地区 3,130,548 千円 (29.5%)、出雲地区 2,847,798 千円 (26.8%)、隠岐地区 625,383 千円 (5.9%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(県全体)

(平成 24 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
ごみ	277,594	4,499	496,400	1,924,519	1,950,737	1,055,116	6,856,741	10,614,869
し尿	213,884	0	596,400	216,828	341,433	22,499	1,316,549	2,366,160
計	491,478	4,499	1,092,800	2,141,347	2,292,170	1,077,615	8,173,290	12,981,029

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(県全体)

(平成 24 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	(組合 分担金)	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				(組合 分担金)	調査 研究費			小計
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終処 分場	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	542,841	157,542	1,722	0	241,189	702,105	1,690,209	57,522	1,068,583	122,406	35,233	2,109,062	3,383,414	290,082	50,230	1,709,548	18,694	8,825,435	1,087,329	10,614,869
し尿	0	937,566	0	5,477	3,885	3,885	946,928	283,054	9,000	571,489	0	0	48,586	437,384	4,468	16,908	337,548	3,993	1,374,882	44,350	2,366,160
計	0	1,480,407	157,542	7,199	3,885	245,074	1,649,033	1,973,263	66,522	1,640,072	122,406	35,233	2,157,648	3,820,798	294,550	67,138	2,047,096	22,687	10,200,317	1,131,679	12,981,029

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

37

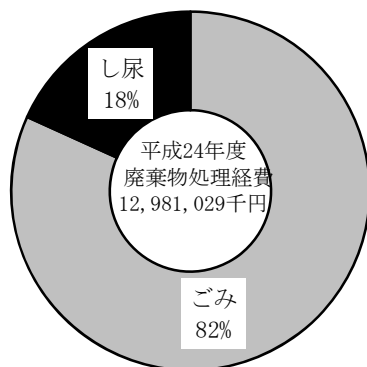


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳 (県全体)

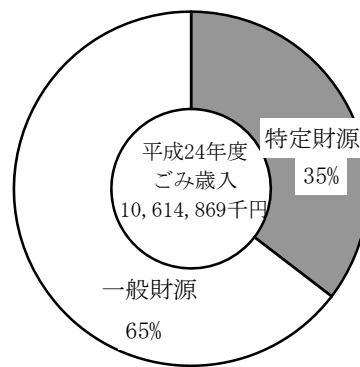


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(県全体)

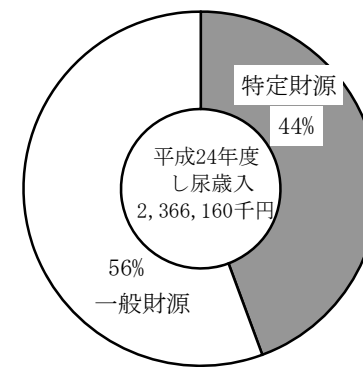


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳 (県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村) (平成 24 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	その他		
ごみ	277,594	4,499	496,400	1,720,941	995,866	6,801,468	10,296,768
し尿	213,884	0	596,400	178,166	17,489	1,301,898	2,307,837
計	491,478	4,499	1,092,800	1,899,107	1,013,355	8,103,366	12,604,605

表 7-4 歳出の内訳(市町村) (平成 24 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費										その他	合計		
	工事費				調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				組合 分担金			調査 研究費	小計
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	286,889	157,542	1,722	0	241,189	687,342	1,422,272	55,409	822,232	115,809	35,233	1,937,385	2,237,803	285,255	37,721	1,709,548	0	8,658,667	950,759	10,296,768
し尿	0	937,566	0	5,477	0	3,885	946,928	199,624	0	388,147	0	0	45,370	366,767	0	16,908	337,548	0	1,354,364	6,545	2,307,837
計	0	1,224,455	157,542	7,199	0	245,074	1,634,270	1,621,896	55,409	1,210,379	115,809	35,233	1,982,755	2,604,570	285,255	54,629	2,047,096	0	10,013,031	957,304	12,604,605

表 7-5 歳入の内訳(事務組合) (平成 24 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	市町村分担金	その他		
ごみ	0	0	0	203,578	1,950,737	59,250	55,273	2,268,838
し尿	0	0	0	38,662	341,433	5,010	14,651	399,756
計	0	0	0	242,240	2,292,170	64,260	69,924	2,668,594

表 7-6 歳出の内訳(事務組合) (平成 24 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費															調査 研究費	小計	その他	合計
	工事費				調査費	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費							
	収集 運搬	中間処 理	最終処 分	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他				
ごみ	0	255,952	0	0	0	255,952	267,937	2,113	246,351	6,597	0	171,677	1,145,611	4,827	12,509	18,694	1,876,316	136,570	2,268,838
し尿	0	0	0	0	3,885	3,885	83,430	9,000	183,342	0	0	3,216	70,617	4,468	0	3,993	358,066	37,805	399,756
計	0	255,952	0	0	3,885	259,837	351,367	11,113	429,693	6,597	0	174,893	1,216,228	9,295	12,509	22,687	2,234,382	174,375	2,668,594

表 7-7 地区別ごみ処理経費の歳入の内訳（地区別）（平成 24 年度、単位：千円）

歳入	特 定 財 源						一般財源	合計
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料	(市町村分担金)	その他		
松江地区	0	0	27,900	710,562	0	256,264	2,135,822	3,130,548
出雲地区	0	4,499	37,000	736,152	434,545	458,212	1,611,935	2,847,798
浜田地区	259,674	0	322,100	388,579	1,516,192	322,242	2,718,545	4,011,140
隠岐地区	17,920	0	109,400	89,226	0	18,398	390,439	625,383
合計	277,594	4,499	496,400	1,924,519	1,950,737	1,055,116	6,856,741	10,614,869

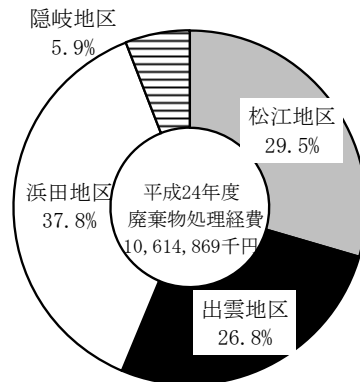
注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 地区別ごみ処理経費の歳出の内訳（地区別）

(平成 24 年度、単位：千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	(組合 分担金)	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				(組合 分担金)	調査 研究 費			小計
	収集運搬	中間処理	最終処分	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
松江地区	0	0	15,727	0	0	0	15,727	661,430	16,258	158,361	54,767	30,137	838,389	1,210,537	14,571	9,798	0	0	2,994,248	120,573	3,130,548
出雲地区	0	63,420	133,258	0	0	0	196,678	355,699	8,501	578,736	39,982	0	617,975	762,141	72,165	35,189	434,545	0	2,470,388	180,732	2,847,798
浜田地区	0	278,737	0	0	0	241,189	278,737	503,004	15,453	274,416	15,967	5,096	623,525	1,324,760	174,390	3,465	1,275,003	18,694	2,958,770	773,633	4,011,140
隠岐地区	0	200,684	8,557	1,722	0	0	210,963	170,076	17,310	57,070	11,690	0	29,173	85,976	28,956	1,778	0	0	402,029	12,391	625,383
合計	0	542,841	157,542	1,722	0	241,189	702,105	1,690,209	57,522	1,068,583	122,406	35,233	2,109,062	3,383,414	290,082	50,230	1,709,548	18,694	8,825,435	1,087,329	10,614,869

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。



※四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図 7-5 地区別の内訳

## 7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。  
平成 24 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 302 人である。  
内訳は、ごみ処理が 264 人、し尿処理が 38 人である。

表 7-9 従事職員の状況

(単位:人)

区 分	ご み		し 尿		合 計		総 計	
	市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合		
一般職	事務系	130	11	10	3	140	14	154
	技術系	34	11	10	3	44	14	58
技能職	収集・運搬	39	0	0	0	39	0	39
	中間処理	22	12	7	0	29	12	41
	最終処分	4	1	0	0	4	1	5
	その他	0	0	5	0	5	0	5
合 計		229	35	32	6	261	41	302

## 7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。  
平成 24 年度末における委託・許可件数は市町村では 372 件、事務組合では 54 件である。

表 7-10 委託・許可件数の状況

(単位:件数)

	区 分	市町村	事務組合
ごみ	委託業(法第6条)	119	13
	許可業(法第7条)	177	41
し尿	委託業(法第6条)	8	0
	許可業(法第7条)	68	0
合 計		372	54

## 7-4 一般廃棄物処理業者等関係

平成 24 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11、12 に示す。

表 7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	ごみ	し尿	合 計
業者数	121	45	157

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表 7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	収集運搬	中間処理	最終処分	合計
従業員数	1,624	462	39	2,119

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

## 8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設（PFI 事業施設含む）のダイオキシン類濃度測定結果について表 8-1 に示す。

表 8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

自治体名 施設名	集塵方式	ダイオキシン類濃度測定値 (ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> )				
		H24 年度 調査結果	H23 年度 調査結果	H22 年度 調査結果	排出基準	備考
松江市 エコクリーンセンター	BF	<b>0.00004</b> <b>0.000046</b> <b>0.003</b>	0.00088 0.000087 0.0022	—	1.0	
奥出雲町 仁多可燃物処理センター	BF	<b>0.79</b> <b>0.4</b>	0.23 0.17	0.047 0.32	5.0	
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	<b>0.0000025</b> <b>0.0011</b>	0.0010 0.0000014	0 0.00059	0.1	
邑智郡総合事務組合 笹畑クリーンセンター	BF	<b>0.23</b>	0.32	2.3	10	
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BF	<b>0.000013</b> <b>0.00005</b>	0.0046 0.0031	0.0045 0.0064	1.0	
益田地区広域市町村圏事務組合 益田地区広域クリーンセンター	BF	<b>0.0000021</b> <b>0.0000012</b>	0.00070 0.00000015	0.0014 0.0000052	5.0	
隠岐の島町 清掃センター	BF	<b>1</b>	1.5	1.1	10	
海士町 海士町清掃センター	BF	<b>0.088</b>	0.11	0.13	5.0	
西ノ島町 西ノ島町ごみ焼却場「清美苑」	BF	<b>0.81</b>	0.81	0.48	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター (RDF)	MC・BF	<b>0.061</b>	0.036	0.089	—	ごみ燃料 化施設
知夫村 知夫村ゴミ焼却場	*	<b>4.2</b>	8.2	1.0	10	

注)集塵方式において、MC=マルサイクロン、BF=バグフィルター、\*=二次燃焼重力沈降方式。

資料：島根県廃棄物対策課「大気基準適用施設の設置者による測定結果」